

住民の皆様へ

京都府山城広域振興局建設部 山城南土木事務所所管

切山地区地すべり対策事業の成果に伴う状況について（お知らせ）

平成 15 年 10 月に発生した切山地区の地すべりについて、京都府では平成 16 年度より地すべり対策として集水井 16 基と集水ボーリング 7ヶ所の対策工事に着手されてこられました。そして、令和 2 年 2 月からは、この対策事業の最終となる 16 基目の集水井の掘削工事が始められております。

また、災害発生後から地すべりの変動の有無を把握することを目的に計器による観測が行われてきました。観測のために設置されたのは、地中変動を確認するためのパイプ歪計と孔内傾斜計、地下水位の変動を確かめるための地下水位計、そして地表面の動きを知るための地盤伸縮計です。

対策工事施工後の観測の結果、工事の効果によって地表面の変化や計器の数値に変動がないこと、地下水位も低下していることが確かめられており、現在、地すべりの活動は安定化していると考えられる、との報告を受けております。

今回、京都府が切山地すべり事業の一貫として実施した観測結果を住民の皆さまにお知らせするとともに、笠置町では、今後も引き続いて「安心・安全のまちづくり」を進めていくため、京都府や近隣市町村との連携を密にし、住民の皆さまの生命や財産を守っていくために防災・減災対策事業を進めてまいります。

計器観測状況 パイプ歪計・地下水位計



地盤伸縮計

